

2023年度
3年生 後期シラバス
(看護学科)

実の力を、学ぶ学校



学校法人
日翔学園

高知開成専門学校

<シラバス>

授業科目	研究・論文の技法	授業方法	講義・演習	単位	1単位	
開講時期	3年次後期	担当教員	加藤 昭尚	実務経験のある教員	○	
学習目的	研究の意義や基本的な知識を習得できる。					
学習目標	1. 研究について基本的な知識と記述方法について学ぶ。 2. 研究における倫理について学ぶ。 3. ケーススタディの基礎知識と記述方法を習得し、ケースレポート計画書・本文・抄録を作成する。 4. ケースレポート発表のためのスライド作成ができる。					
授 業 計 画	1	研究とは何か				
	2	質的研究の概要				
	3	量的研究の概要				
	4	医中誌の検索方法について				
	5	ケーススタディとは、企画と準備				
	6	ケースレポートの作成方法				
	7					
	8					
	9					
	10					
	11		ケースレポート(本文、抄録、スライド)の作成			
	12					
	13					
	14					
	15					
	発表会					
授業方法	講義・演習					
テキスト・参考文献	1. これからの看護研究 2. 看護学生のためのケーススタディ					
評価方法	出席状況、授業態度、ケースレポート内容、スライド内容					
履修上の注意事項	提出期限厳守。15コマでは作成終了が困難な場合補習あり。					

<シラバス>

授業科目	看護管理	授業方法	講義・演習	単位	1単位
開講時期	3年次後期	担当教員	戸田 かつみ 藤井 千江美	実務経験のある教員	—
学習目的	1. 看護専門職として看護実践をする責任を理解し、計画、組織化、支持、調整、統制を行う基礎的なマネジメント能力を養う。また、チームや組織、システムを動かしていくためのマネジメント、リーダーシップの必要性を理解する。 2. 多職種との協働・連携の必要性と各職種の役割について理解し考察できる。 3. 発展途上国での看護活動の実践者から、医療・保健に影響を与えているさまざまな要因や実情を知り、社会科学、人間科学的な視点も踏まえ看護の役割について理解する。				
学習目標	1. 看護管理の目的や看護におけるマネジメントについて理解できる 2. 看護師のキャリア開発について理解する。 3. 多職種との協働・連携の目的や各職種の役割が理解できる。 4. 多職種との演習授業に主体的に参加し、協働・連携について考察できる。 5. グローバルな視点で世界の人々の健康・生活課題と国際看護活動の実際について理解できる。				
授 業 計 画	1	看護管理の目的(管理の変遷、手法について理解する)			
	2	看護マネジメントについての知識を得る			
	3	組織についての基本的知識やマネジメントについて理解する。看護職のキャリアについて理解する			
	4	多職種協働・連携についての基礎知識とリーダーシップ・メンバーシップについて理解する			
	5	多職種協働・連携演習			
	6	多職種協働・連携演習			
	7	国際看護			
	8	国際看護			
	授業方法	講義・演習			
テキスト・参考文献	ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践 看護管理:MCメディカ出版				
評価方法	出席状況、授業態度、演習参加の状況、試験				
履修上の注意事項	多職種協働・連携演習の方法については、授業で説明する。				

<シラバス>

授業科目	災害看護	授業方法	講義・演習	単位	1単位
開講時期	3年次後期	担当講師	増田 みちる	実務経験のある教員	—
学習目的	災害の特徴、災害医療および看護の基本を理解するとともに、災害各期の看護に必要な知識、急性期の救護活動に必要な基本的救護技術を習得し、実践に活かすことができる能力を養う。				
学習目標	1. 災害医療・災害看護の概念を理解できる。 2. 災害各期の看護活動を理解できる。 3. 災害時の応急処置の実際を理解できる。				
授 業 計 画	1	1. 災害の定義・災害看護の定義と役割 2. 災害サイクルとサイクル別看護活動 3. 災害の種類・災害時期別健康問題 4. 災害医療			
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8	まとめ・試験			
授業方法	講義				
テキスト・参考文献	系統看護学講座「災害看護学・国際看護学」 医学書院				
評価方法	出席状況、試験、課題レポート、演習態度				
その他					

<シラバス>

授業科目	公衆衛生学	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期	3年次後期	担当教員	大井 美紀	実務経験のある教員	—
学習目的	公衆衛生の意義と重要性や、わが国の健康水準の現況および疾病予防や健康増進のための方策について学び公衆衛生学的な考え方を身につける。				
学習目標	①健康・疾病・障害と生活の関わり of 基本的な概念を理解する。 ②生活環境が健康に及ぼす影響について述べるができる。 ③地域住民の健康を保持増進するための保健活動を理解。 ④自然科学的な研究方法論である疫学の考え方を習得する。				
授 業 計 画	1	公衆衛生とは何か。公衆衛生の歴史			
	2	公衆衛生からみる人間と環境—人間の健康と自然・生活環境—			
	3	衛生統計と公衆衛生—グループワーク—			
	4	衛生統計と公衆衛生—グループワーク—			
	5	グループワーク発表			
	6	疫学とは 感染症と予防			
	7	予防と健康保持増進—健康教育の取り組み—			
	8	地域保健・産業保健・環境保健			
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
		テスト			
授業方法	講義 グループワーク(演習)				
テキスト・参考文献	テキスト: 国民衛生の動向: 厚生統計協会 参考文献: 新体系看護学全集 健康支援と社会保障制度② 公衆衛生学 第4版メヂカルフレンド社. 2016				
評価方法	試験 出席状況 授業態度(GWの参加状況)、レポート				
履修上の注意事項	健康・環境・健康に関する社会の状況について関心をもつこと。				

<シラバス>

授業科目	情報活用と基本概念		授業方法	講義・演習	単位	1単位
開講時期	3年次後期		担当教員	久保 一夫	実務経験のある教員	○
学習目的	医療現場において、電子カルテやオーダーリングシステムなどコンピュータを活用する場面が日常化している。医療従事者のみならず一般社会人としても、情報機器を正しく活用し、適切に処理できる能力が求められている。					
学習目標	情報科学に関する基礎知識を習得し、高度情報化社会に生きる医療従事者として、コンピュータを正しく扱い、看護ニーズとしての医療情報を早く正確に入手して、活用できる基礎能力を身につける。					
授 業 計 画	1	PowerPoint プレゼンテーション				
	2	PowerPoint プレゼンテーションの作成				
	3	PowerPoint オブジェクトの挿入と編集(1)				
	4	PowerPoint オブジェクトの挿入と編集(2)				
	5	PowerPoint スライドマスターの設定				
	6	PowerPoint 表示効果n設定(1)(2)				
	7	PowerPoint スライドショーの実行				
	8	情報倫理とセキュリティ 著作権・ネットショッピングの利用				
	9	情報倫理とセキュリティ ネット社会でのコミュニケーション				
	10	情報倫理とセキュリティ コンピュータウィルス対策				
	11	情報倫理とセキュリティ 迷惑メールへの対応				
	12	情報倫理とセキュリティ フィッシング・悪質商法				
	13	情報倫理とセキュリティ パスワードの管理と個人情報				
	14	情報倫理とセキュリティ 不正アクセス対策				
	15	情報倫理とセキュリティ Windowsのセキュリティ対策				
	授業方法	講義、演習				
テキスト・参考文献	情報リテラシーパーフェクトブック:ウイネット					
評価方法	試験、授業参加態度					
履修上の注意事項						

<シラバス>

授業科目	地域社会の歴史と文化	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期	3年次後期	担当教員	公文 豪	実務経験のある教員	—
学習目的	1. 社会文化を学び、自らの文化を考え、自己と他者の理解を深める。 2. 先人の行動を通して、時代を変える発想、違う観点での物事の見方を知る。 3. 主体的な責任感を持って行動することの重要性を知る。				
学習目標	1. 土佐の自由民権運動を知り、人権の重要性を理解し、人権意識をもてる。 2. 身近な地域社会を知り、そこで暮らす人々を一人の人間として尊敬し、築いてきた文化・風土を理解する。 3. 地域社会の文化や特性、発展の歴史を知ることにより、看護の対象者の理解を深める。				
授業計画	1		講師より提示あり		
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	テスト				
授業方法	講義				
テキスト・参考文献	講師資料				
評価方法	出席状況、試験				
履修上の注意事項					

<シラバス>

授業科目	医療と経済		授業方法	講義	単位	1単位
開講時期	3年次後期		担当教員	宮井 千恵	実務経験のある教員	—
学習目的	超少子高齢化の進展、疾病構造の変化等に対応するために、地域において医療と介護を総合的に確保するよう取り組みが加速している。団塊の世代が後期高齢者に入る2025年及び高齢者数がピークを迎える2040年を見据えて、我が国の社会保障制度、特に医療制度の現状と改革の内容を理解し、医療における経済的視点を養う。					
学習目標	我が国の医療の現状や国の政策、将来の見通しなどを理解する。 医療における経済的視点を養う。					
授 業 計 画	1	日本の社会保障制度のしくみ				
	2	保健医療福祉関係法令の全体像				
	3	日本の医療保険制度				
	4	労働法と社会基盤整備				
	5	日本の財政事情と社会保障サービスの質				
	6	病院の機能・看護サービスと経済				
	7	在宅医療の機能・看護行為と経済				
	8	看護職の労働供給と労働需給				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
		テスト				
授業方法	講義:学生への質問等による双方向コミュニケーション					
テキスト・参考文献	講師が用意する資料					
評価方法	出席状況、課題レポート					
履修上の注意事項	授業中に質問時間を設けます。積極的に質問をしてください。					

<シラバス>

授業科目	看護技術評価		授業方法	講義・演習	単位	1単位
開講時期	3年次後期		担当教員	全専任教員	実務経験のある教員	○
学習目的	厚生労働省が提示している「看護教育の技術項目と卒業時の到達度」に準ずるレベルの看護技術を看護の状況に応じて活用する能力を養う。					
学習目標	卒業時に最小限度の必要な各技術の根拠を明確にでき、技術を実践することができる。また、事例を通して必要な看護技術の判断ができ、実施することができる。					
授 業 計 画	1	基礎看護学				戸梶
	2	基礎看護学				戸梶
	3	在宅看護論				松本
	4	在宅看護論				松本
	5	小児看護学				戸梶
	6	小児看護学				戸梶
	7	成人看護学	急性期看護学			大沢
	8	成人看護学	急性期看護学			大沢
	9	成人看護学	慢性期看護学			武政
	10	成人看護学	慢性期看護学			武政
	11	老年看護学				山本
	12	老年看護学				山本
	13	精神看護学				小笠原
	14	精神看護学				小笠原
	15	まとめ				
	16					
授業方法	講義・演習					
テキスト・参考文献	講師が作成する資料					
評価方法	出席状況、授業態度、試験					
履修上の注意事項						

<シラバス>

授業科目	統合実習	授業方法	臨地実習	単位	2単位
開講時期	3年次後期	担当教員	専任教員	実務経験のある教員	○
学習目的	医療・看護チームの一員としての体験を通して、総合的な看護実践能力を培うとともに、看護に対する考えを探求する。また、様々な職種とその役割を知り、看護の役割と責務について学ぶ。さらに、地域の保健活動の現状とそこで暮らす人々の健康に対するニーズを理解し、看護職者の地域看護における役割と関係職種の役割・連携について学ぶ。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複数の受持ち患者を通し、臨床の場で起こる様々な状況に対する判断力を養う。 2. 看護チームの一員であることを自覚し、自らの判断・行動に対する責任感を養う。 3. チーム医療におけるマネジメントの実際を通して、基礎的なマネジメント能力を養う。 4. 地域で暮らす人々の健康に貢献できる看護観の発展と行動規範の向上を目指す。 5. 自己の学習課題を明確にする。 				
授業計画	<p>1グループ3名から6名にて編成。地域実習では、この限りではない。</p> <p>病院実習7日間、地域実習3日間、学内実習2日間で構成</p> <p>【方法】</p> <p>①病院実習では、複数患者を受け持ち優先順位をつけた看護実践について考える。ただし、看護過程の展開は1名とする。</p> <p>②看護管理者、チームリーダーの業務を見学し、看護管理について理解する。</p> <p>③地域実習では、地域の特徴と住民のニーズを理解するとともに、各々の専門職の活動内容を知る。また、看護専門職を目指す者として、看護実践にどのように活かしていくことができるのか思考できる。</p> <p>④事前課題として、これまでの看護学実習を振り返り、「統合実習における自己の課題」についてまとめ、発表する。(病院・地域それぞれについて)</p> <p>⑤事前学習では、各実習施設の概要、役割、機能や看護管理、チーム医療、医療安全などの学習をしておく。</p>				
授業方法	臨地実習				
評価方法	評価票を基に実習内容、記録、発表内容、実習態度を総合して評価する。				
履修上の注意事項	全ての時間の履修、および到達課題の達成ができなければ単位取得できない。				